

栗原地域だより

第 20 号

平成 27 年 7 月 1 日発行

目 次

- 夏の栗原を楽しもう！
- 栗原のズッキーニがテレビで紹介されました
- 瀬峰で救護されたマガンが八木山動物公園にデビュー！
- 栗原市営深山牧野で放牧がはじまりました
- 栗駒ダムの取水設備が完成しました
- 農業用水路やため池での水難事故防止について
- 栗原地方県政情報コーナーのご利用をお待ちしております
- 土砂災害から身を守るために
- 薬物乱用防止教室（危険ドラッグ等）を開催しています
- みやぎ出前講座「山地災害と復旧対策」を開催し、好評でした
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

- p1
- p2
- P3
- p3
- p4
- p4
- p5
- p6
- p7
- p7
- p8

伊豆沼・内沼はすまつり



8/1(土)から開催！

夏の栗原を楽しもう！

～仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン2015が始まりました～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

「仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン2015」が7月1日から始まりました（9月30日まで）。
ユリ、栗駒山の高山植物、ハスなど、夏の栗原は花の見どころがたくさん！夏のお出かけは是非、栗原へ。
花のきれいなおすすめポイントを紹介します。

①南くりこま高原一迫ゆり園

30,000㎡の園内にユリ約200品種15万球、ヘメロカリス約50品種2万株が咲き誇り、美しい彩りと香りで来場者を楽しませてくれます。

- 問い合わせ：0228-52-4551
- 場所：栗原市一迫真坂清水堰田
- 期間：6月19日～7月26日 8:30～17:00
- 料金：一般670円、小中高生310円



色とりどりに咲き誇るユリの花

②栗駒山麓トレッキング

様々な高山植物が咲く栗駒山は夏のトレッキングにぴったり。初心者から上級者までさまざまなコースがあるので、自分のペースで登ることができます。

標高1,626m、天候に恵まれれば山頂からは月山・鳥海山・蔵王連峰、そして遠く太平洋まで一望できます。

トレッキングに当たり、山岳ガイド（有料）の手配も可能です。

- 問い合わせ：0228-25-4166（一般社団法人 栗原市観光物産協会）

③伊豆沼・内沼はすまつり

夏真っ盛りの8月には、伊豆沼・内沼の沼一面が淡いピンクのハスの花でいっぱいになります。沼全面に広がる美しい光景に息をのむこと間違いなし。期間中は、船で湖面を散策できます。

- 問い合わせ：0228-22-1151（栗原市田園観光課）
- 乗船乗場：若柳会場（伊豆沼）：宮城県伊豆沼・内沼
サンクチュアリセンター付近
築館会場（内沼）：内沼サンクチュアリ
センターつきだて館付近。
- 期間：8月1日～8月31日 8:00～17:00
- 料金：大人700円、子供400円。



沼一面に咲くハスの花

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

栗原のズッキーニがテレビで紹介されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

今年から、栗原農業改良普及センターではJA 栗っこ、栗原市と連携してズッキーニ生産拡大プロジェクト「Z600」をスタートさせています。「Z600」とは、ズッキーニのZと、生産面積600アールの略で、5年後には生産面積35ヘクタール、販売額1億円を目指し、栗原産ズッキーニのPR活動などを行っています。

平成27年6月8日（月）に、栗原市若柳地区のズッキーニ栽培の様子が、テレビ局の取材を受け、野菜ソムリエのカワシマヨウコ先生が、採れたてのズッキーニのオーブオイル炒めを試食しました。また、JA 栗っこ女性部等の協力による「ズッキーニ応援隊」が、お揃いのユニフォームで歌や踊りを披露し取材を盛り上げ、これらの様子は、6月22日（月）に東北放送で放映されました。

みなさんもぜひ、これからが旬の栗原産の美味しいズッキーニを、味わってみてください。

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班
Tel：0228-22-9437



ズッキーニの取材を受ける生産者



「ズッキーニ応援隊」と「ねじりほんによ」

瀬峰で救護されたマガンが八木山動物公園にデビュー！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所管内は、栗駒山やラムサール条約登録湿地の伊豆沼・内沼などがあり、自然豊かな地域です。様々な野生動物が生息しており、林業振興部には年間を通じて怪我をしたり病気にかかったりした野生鳥獣の救護依頼が寄せられます。マガンもその一例です。

マガンは国の天然記念物に指定されている鳥で、毎年冬になると県北地域に飛来し、その数は伊豆沼・内沼だけで多い年には約10万羽にもものぼります。飛来数に対して救護依頼は少ないのですが、1羽のマガンが今年2月に栗原市瀬峰で怪我をして飛べなくなっているところを発見され、林業振興部で保護しました。野生復帰に向け仙台市の八木山動物公園に看護飼育をお願いしていましたが、左羽を骨折していたため復帰は難しいことがわかり、八木山動物公園で展示・繁殖用として活用できないか経過観察をしてきました。

その後は、順調に回復して元気になり、八木山動物公園で唯一のマガンとして展示されることが決まりました。展示は、園内の施設工事の関係で、8月下旬からになる予定ですが、皆さんも機会がありましたらぜひ会いに行ってみてください。



元気になり展示を待つマガン

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班 Tel: 0228-22-2133

栗原市営深山牧野で放牧がはじまりました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市栗駒の市営深山牧野で、牛の放牧が行われています。放牧は、東京電力福島第1原発事故の影響により一時休んでいましたが、牧草地の除染作業（草地更新）が終わり、平成25年から放牧が再開されました。今年は5月26日に入牧（開牧）が行われ、衛生検査を受けた後に、61頭の黒毛和種繁殖雌牛が広い放牧場に放たれ、ゆったりと草を食べていました。

放牧は牛の足腰を強め、健康で丈夫な牛づくりに大きな役割を果たします。また、放牧期間中の牛の健康管理のため、定期的に衛生検査も行われます。秋の下牧（閉牧）までには放牧される牛が追加され、牧野も一段と賑やかになります。

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班
Tel: 0228-22-2487



広々とした放牧地で草を食む牛たち



衛生検査のための採血

栗駒ダムの取水設備が完成しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗駒ダムでは、ダムから水を取る取水設備の改修工事を平成 24 年 12 月から始め平成 27 年 3 月に終えたことから、現在は新たな設備により取水を行っています。

ダムなどのかんがい用水は、稲の育成に良い太陽の熱で温まった表面近くの水を取る必要があり、改修前は円筒形の筒を電動巻き上げ機により上下させる方式で取水していましたが、老朽化が著しいため維持管理に苦労していました。

新たな取水設備は、「遮水膜昇降式多段フロート取水ゲート」と呼ばれ、水面にあるフロート（浮き）とその下にある取入れ部が水位に連動し上下することにより常に温かい水を取水できるという、全国初の設備で、今後維持経費の軽減が期待されています。



改修前の取水塔
(塔中心部分の筒状のゲートを収縮(上下)させる)



改修後の取水設備
(水面にある浮きが水位に連動して上下する)

■お問い合わせ 栗駒ダム管理事務所 Tel: 0228-22-2467

農業用水路やため池での水難事故防止について

北部地方振興事務所栗原地域事務所

毎年、農作業が盛んになるこの時期は、農業用水路などの水量が多くなるため、子どもたちが水遊びや魚釣りに夢中になって、水路やため池に転落する事故が後を絶ちません。また、近年は高齢者の水難事故も発生しています。

このため、子どもたちだけで農業用水路やため池で遊ばせないよう、また高齢者も気をつけるよう、家庭内での呼びかけも大切です。痛ましい事故を防ぐため、家族だけでなく、地域の皆さんもお声がけをお願いします。



フェンスがある場所には立ち入らない!



こんな看板がある場所に注意!

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel: 0228-22-2398

栗原地方県政情報コーナーのご利用をお待ちしております

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原地方県政情報コーナーでは、県政の現状や課題など県民の皆さんの求める情報が、身近なところで早く、気軽に、簡単に手に入るよう、各種資料を準備しています。

県が作成した様々な資料が保存しており、必要に応じて閲覧、貸し出し、写しのサービスを受けることができます。

(※写しの提供には実費の負担が必要となります。)

地域の皆様のご利用をお待ちしております。



栗原地方県政情報コーナーの様子

Q どんな資料を取り扱っていますか？

A 次のような資料を準備しております。

○行政資料

- ・県の予算、議会の会議録、白書類、統計書など印刷・製本した資料のことで、統計資料や県の事業に関する様々な資料があります。有償で販売しているものもあります。

○配布資料

- ・無償でお配りしているパンフレット・リーフレット等を準備しております。

○公表資料

- ・上記の行政資料や配布資料以外にも、宮城県では様々な資料を公表し、県政情報コーナーに備え付けています。(例：公共工事・物品調達等の入札結果、パブリックコメント、宮城県が行っている各種試験のうち公開している過去の試験問題など)

Q あらかじめ、どんな資料があるか調べることはできますか？

A 県のホームページであらかじめ確認することができます。

- ・行政資料については、 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyohokokai/g-siryo.html>
- ・配布資料については、 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyohokokai/map-top.html>
- ・公表資料については、 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyohokokai/kohyosiryo.html>

Q 他にはどんなことをしているのですか？

A 行政文書の開示請求や個人情報の開示請求に関するご案内や受付を行っています。

●窓口のご案内

〒987-2251 栗原市築館藤木5番1号

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 県民サービスセンター内(合同庁舎1階)

TEL 0228-22-2111(内線288) ファクシミリ 0228-22-4380

- ・ご利用時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
- ・お休み 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

■お問い合わせ 総務部 県民サービスセンター Tel:0228-22-2257

土砂災害から身を守るために

～日頃の備えと早めの避難が大切です～

北部土木事務所栗原地域事務所

近年、非常に激しい雨が限られた地域で短い時間に集中して降ることが増えており、それに伴って土砂災害も多くなっています。

土砂災害から自分や周囲の人の命を守るためには、日頃からの備えと早めの避難が大切です。

まずは住んでいる地域の危険度を確認してください。がけや溪流の付近にお住まいの方は、土砂災害に対する十分な警戒が必要です。雨が降り出したら、雨量情報や土砂災害警戒情報に注意して、大雨になる前に早めの避難を心がけてください。

●日頃から住んでいる地域の危険度を把握する。

土砂災害のハザードマップ (<http://www.kuriharacity.jp/index.cfm/11,2010,91,html>) や宮城県の土砂災害危険箇所公表システム (<http://www.dobokugis.pref.miyagi.jp/>) などを参照して、お住まいの場所が土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等に当たるかあらかじめ確認してください。

●雨が降りはじめたら雨雲の動きや土砂災害危険情報に注意する。

大雨による土砂災害の危険度が高まった時には「土砂災害危険情報」が発表されます。

土砂災害危険情報は、TV、ラジオ、インターネットなどで報道される他、気象庁や宮城県のウェブサイト

(<http://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/index.jsp>) などでも確認できます。また、宮城県の「土砂災害警戒メール配信システム」(http://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/mail/DoshaMail_pc.htm) では、ご希望のエリアの『大雨警報・注意報』や『土砂災害警戒情報』をEメールでお知らせするサービスを実施しており、土砂災害に対する警戒・避難等に役立てていただくことができます。

●豪雨になる前に早めの避難行動を。

大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された時、また、夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難することがより安全です。お年寄りなど災害時要配慮者がいる場合は、移動時間を考えて早めの行動を心がけてください。

どうしても近くの避難所への避難が難しい時は、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難する必要がありますが、それも難しい場合は家の中で、より安全な場所（例えば、がけから離れた部屋や2階など）に避難してください。

土砂災害防止月間パトロールの様子



急傾斜地 寺前地区



急傾斜地 北沢向地区

■お問い合わせ：北部土木事務所栗原地域事務所 河川砂防班 Tel：0228-22-2193

薬物乱用防止教室（危険ドラッグ等）を開催しています

北部保健福祉事務所栗原地域事務所

危険ドラッグ等、違法薬物に関係する事件や事故は宮城県内でも発生しています。栗原保健所では、麻薬、覚せい剤、大麻、危険ドラッグ、シンナー等の薬物乱用の恐ろしさや、薬の正しい知識を身につけるための小、中、高校生向けの薬物乱用防止教室を開催しています。内容は、薬物乱用防止の講話（『薬物乱用とは何か』『乱用するとどうなってしまうのか』『誘われたときの断り方』）及び啓発 DVD の放映等で、時間は1回40分～50分程度です。町内会等の地域コミュニティでの開催も可能です。お申し込みやその他詳細については、下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ 北部保健福祉事務所栗原地域事務所 食品薬事班 Tel：0228-22-2115

みやぎ出前講座「山地災害と復旧対策」を開催し、好評でした

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市婦人防火クラブ花山支部からの依頼を受け、去る5月31日（日）に石楠花センターを会場に、みやぎ出前講座「山地災害と復旧対策」を開講しました。この講座は、自然災害が頻発している状況を踏まえ、本年度、新たに開設したばかりの講座メニューであり、地域の住民から早々に開講の依頼があったものです。

当防火クラブの会員数は169名であり、平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震やその後の東日本大震災など度重なる地震で被災した経験から、山地災害に対する関心が高く、今後の防災活動に役立てたいとのことから、受講を希望したとのことです。

当日は30名が受講、1時間あまりの講義でしたが、最後まで真剣な眼差しでの聴講となりました。講義では、林業振興部の職員から山地災害のメカニズムや復旧対策、日頃の防災に対する心構えを詳しく解説しました。終了後のアンケートでは、「山地災害の防止には森林が重要であることがわかった」「忘れがちな山地災害危険地区を改めて確認できた」「治山事業は長期にわたり大変である」などの感想が寄せられ、大変好評でした。自然災害から命を守るためには、何よりも防災意識の醸成が不可欠です。出前講座を知っていただき、一人でも多くの方々に受講していただければとの思いから、職員一同、出動体制を整えております。



出前講座を実施している研修風景

■みやぎ出前講座(宮城県 HP 内): <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kohou/demae.html>

■お問い合わせ 林業振興部 森林整備班 Tel：0228-22-2391

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 27 年 4 月 6 日～6 月 2 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

4 月 6 日から 6 月 2 日までの間に農林産物 37 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値（100 ベクレル/kg）以下でした。また、基準値の 2 分の 1（50 ベクレル/kg）を超え、精密検査が必要になる食品もありませんでした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの（4/6～6/2）

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
ちぢみな	—	◎	葉わさび	—	—	◎
かきな	◎	—	ヨモギ	—	—	◎
だいこん(7点)	◎	◎	ふき(3点)	—	◎	◎
かぶ	◎	—	わらび(2点)	—	—	◎
葉たまねぎ	—	◎	しどけ(2点)	—	—	◎
ねぎ(2点)	—	◎	うど(2点)	—	—	◎
たまねぎ(3点)	—	◎				
ゆきな(花)	—	◎				
にら	—	◎				
二十日大根	—	◎				
はくさい(2点)	—	◎				
みずな	—	◎				
キャベツ(2点)	—	◎				
ズッキーニ	◎	—				
チンゲンサイ	—	◎				

◎：基準値以下 —：検査未実施

食品群	基準値(1kg あたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を
ご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）
林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284
E-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp
ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 21 号）は 9 月 1 日発行予定です。